

達成状況評価書(平成24年度)

部局名:生命機能研究科

項目	コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	<p>教育に関する年度計画の達成状況</p> <p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、優秀な学生を集めるために、入試制度の抜本的改革を実施した結果、受験者数が約20%増え、入学者数も大幅に増加するとともに、情報通信研究機構、国際電気通信基礎技術研究所、理研生命システム研究センターとの連携により、多様な背景・専門性を持つ人材の登用を推進し、さらに、『春の学校』を開催し研究指向の高い学部生との対話を開始するなど積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	<p>研究に関する年度計画の達成状況</p> <p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、紫綬褒章、恩賜賞・日本学士院賞の受賞、科学技術分野の文部科学大臣表彰など特筆すべき成果を挙げるとともに、博士課程教育リーディングプログラム「ヒューマンウエアイノベーション博士課程プログラム」の採択や情報通信研究機構・国際電気通信基礎技術研究所との連携による「脳情報通信融合研究センター」の研究棟竣工への貢献、「卓越した大学院拠点形成支援補助金」の採択など、積極的に取り組み、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	<p>(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流</p> <p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、研究科として獲得した複数の外部資金を有効活用することにより国際交流を推進し、結果として平成25年度入学の海外留学生が13名と、例年の数名に比べて大幅に増加するなど、適切に実施している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	<p>業務運営全体に関する年度計画の達成状況</p> <p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、各種会議に関する事務処理の効率化を図るため、ペーパーレス会議を導入し、施設設備の他機関への貸出を行うことにより、オープンラボを効率的に運用するなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況	<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、情報通信研究機構および国際電気通信基礎技術研究所との連携による「脳情報通信融合研究センター」の研究棟が竣工し、脳の高次機能解明を目指した研究が本格的に推進されたほか、入試方法を一新した結果、受験者数が約20%増え、入学者数が大幅に増加したことに加え、博士課程教育リーディングプログラム「ヒューマンウエアイノベーション博士課程プログラム」が採択されるなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>